



2024.1.25

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

新しい年をむかえて

2024年の新しい年を迎えました。大変遅くなりましたが、あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

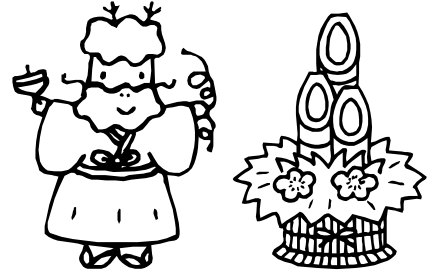
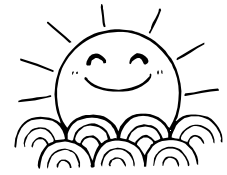
ところが元旦に能登半島地震が起き、被災地の皆様にとって大変な年明けとなりました。地震でお亡くなりになられた方々に心よりお悔やみを申し上げますとともに、被災地の1日も早い復興をお祈りいたします。また2日には羽田空港で飛行機事故が起きましたが、乗客は全員助かり、世界でも「奇跡の生還とニュースで報道されました。残念ながら海上保安庁の方が亡くられました。心よりご冥福をお祈りいたします。

地震の被害がニュースで報道されるたびに、胸が苦しくなる思いでした。特に道路が寸断されてしまい、物資の供給や水道・電気の復旧作業も思うように進んでいないとのこと。これまでに起こった震災より復旧作業が遅れている現状に、「早くなんとかしてほしい」と思いながら、何もできない自分に対して自分だけぬくぬくしていいのだろうか、と罪悪感にさいなまれたのです。同じ思いをされた方もみえるのではないのでしょうか。

でもその時に気持ちを切り替えました。自分は被災地の直接のお手伝いはできないが、今自分に与えられた環境や時間の中で、目の前のことに一生懸命取り組むことが大切なのだ、と。人それぞれ自分にできることを精一杯行うことが、被災地の皆さんにエールを送ることだと気持ちを切り替えて、改めて家族がいてくれることの有難さ、元気に仕事ができることへの感謝、当たり前のことがいかに大切かを思うようになりました。

公職者として新年会にお招きをいただいた時、挨拶で次のようにお話しました。「被災地のニュースに皆様心を痛めてみえると思います。でも、私たちは自分にできること、目の前のことに精一杯取り組むことで頑張りましょう。だから、目の前に出されたご馳走や飲み物を残さないで食べる事、この時間を一生懸命楽しむこと。日本の経済を元気にして被災地の皆様に思いを届けましょう。」

きっと多くの方々が被災地の皆様を助けたいと、募金活動、ボランティアの登録、物資の応援等、何かの形で応援されていると思います。何もできない自分ではなく、毎日をきちんと生きる事も応援の一つだと私は信じて、被災地の1日も早い復興を願っていきたいと思います。



チャリティコンサートのお礼

「被災地支援で自分にできる事」で、去る20日に音楽企画「響」のメンバーと共に、チャリティコンサートを開催しました。昨年チケットのご購入をお願いしたところお申し込みがあり、瀬戸ひなご幼稚園の方々のご参加もいただきました。心より感謝申し上げます。このコンサートも8回目を迎え、これまでは東日本大震災の義援金として送ってきましたが、今回は会場のご了承も得て能登半島地震の皆様に送ることになりました。

私たち「響」は「皆様と一緒に楽しんでいただける音楽を届けよう」というコンセプトで曲選びをします。それもお子さんからお歳を重ねた方々までが知っている曲を、と考えます。ですからディズニーアニメ、Jポップ、ヒット曲、伝統ある古典曲、オリジナル曲と幅広いジャンルの曲を演奏します。メンバーは音楽講師としてピアノやエレクトーン・琴の演奏者でプロの方ばかり。ど素人は私だけです。いつもは講師の方々に演奏していただき、私がボーカルを務めるパターンで曲をお届けしてきましたが、あのホールの素晴らしいピアノをどうしても弾きたくて、無謀にも自分でピアノを弾きながら歌うことに挑戦しました。

半年も前から取り組みましたが、練習しても練習してもなかなか上達せず…。なんとか本番に間に合いましたが、ミスもいっぱいしちゃったよう！（笑）幼稚園の先生たちが、遊戯会の時のピアノに向かうドキドキ感を味わい、「間違わないように。」と偉そうに言っていた自分が恥ずかしくなりました。

もうすぐ遊戯会です。先生たちは必死で練習していますが、本番はドキドキ！大目には申しませんが、ご理解をお願いしたいと思います。

